

帯広市コミュニティ・スクール（CS）通信 Vol.15

帯広市では、社会総掛かりで子どもの学びと育ちを支える仕組みづくりを進めています。コミュニティ・スクール（CS）は、学校・家庭・地域が目標を共有して、ともに子どもを育む取組です。



令和6年度 地域コーディネーター研修会を開催しました

講師に学校支援アドバイザーの保前明美様をお迎えし、地域でコーディネーターとして活躍している方、コーディネーターに興味がある方を対象に研修会を全4回開催しました。

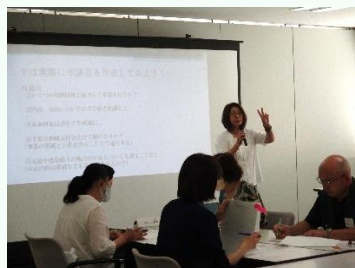
①7月11日（木） 『気づき』と『反省』⇒『学び』



保前様よりコーディネーターの基本について講義いただいた後、実際にコーディネーターとして活動されている粥川千恵様（豊成小）と岡田美恵様（森の里小）より、活動の実例紹介をいただきました。

参加者からは、「情報共有の大切さや、それぞれの学校の問題点などがよく分かった」という感想をいただきました。

②8月6日（火） 『コーディネーター』としてのスキルを磨く



夏祭りをテーマに、「こども学校応援地域交付金」の申請書を作成しました。作成してみて気付いたことなど、グループごとに意見交換した後、参加者全員で共有しました。参加者からは、「これまで申請書を作成した経験はないが、これを機に作ってみたい」、「学校・家庭・地域をどのように繋げていくか、仲間と話し合ってみよう」という感想をいただきました。

③9月5日（木） 『コーディネーター』としての実践力を養う



「防災訓練を実施しよう」というテーマで、グループ内でコーディネーターや地域ボランティアなど役割分担をし、予算やその配分、ボランティアを拡充する方法などの意見を出し合い、防災訓練実施日までの流れを作成しました。

参加者からは、「役割を超えて自分事と捉えて考えるきっかけとなった」という感想をいただきました。

④9月26日（木） 『コーディネーター』の重要性と役割の再確認



③で行ったワークショップの反省と学びについてグループ内で話し合いました。その後、コーディネーターとして最も重要なスキルについて、保前様より総括いただきました。

また、全4回参加いただいた8名の方に修了証書をお渡しし、研修会を終えました。講師の保前様、ご参加いただいた皆様ありがとうございました！



CSの取り組みやボランティア募集の広報活動を行っています



帯広市では、CSや『学校・家庭・地域の連携・協働した活動』の概要や、実際の取組を幅広く伝えるため、活動紹介の動画を公開しています。



CSの動画解説はこちら→



←放課後子ども広場の動画解説はこちら



10月に学校地域に係るボランティア活動内容の紹介及びボランティア募集のチラシを全戸配布しています。ボランティアは随時募

集していますので、ご希望の方は下記問い合わせ先までご連絡ください。

【発行・問合せ先】

帯広市教育委員会 学校教育課 教育総務室 学校地域連携課

TEL：0155-65-4162

Email：school_cooperation@city.obihiro.hokkaido.jp

帯広市 コミュニティ・スクール

検索



（令和6年11月27日発行）

